



## Aux Petits Chevalets

(オ・プティ・シュヴァレ)

オリヴィエ・パオリさん

Olivier PAOLI

東京・渋谷の閑静な住宅地の南平台町に、新しい弦楽器のアトリエ「Aux Petits Chevalets」(オ・プティ・シュヴァレ)が誕生した。アトリエは、フランスに來たかのように思える応接間と工房から成り、そのどちらもアップルの最新のコンピュータがさりげなく置かれている。

フランス人のオリヴィエ・パオリ(Olivier PAOLI)さんの工房である。パオリさんに日本でアトリエを開いた動機、得意な修復等についてうかがった。

**どんなに壊れた楽器でも修復**

—弦楽器工房にアップル・コンピュータはともお似合いですね。

「私は、弦楽器という伝統的な世界、いわば古い時代のものとコンピュータという時代の最先端のものとの両方が好きなんです。」

コンピュータは弦楽器に関する様々なデータベースとして使われ、彼の得意な修復の記録としても使わ

れている。

「私は修復が一番得意です。壊れてしまったものにもう一度命を吹き込む、ということが好きなんです。」

—車で轢かれてしまったような楽器でも直る、ということをよく聞くのですが。

「それは、本当にそうです。写真をご覧にいきましょう。」

ということ、彼のアップルのコンピュータのデータベースから、壊れた状態の楽器、そして、どのように直していくか、そして修理が完成したもののそれぞれの写真を見せていただいた。具体的にどのよう直していくのか、そのテクニックも説明していただいた。本当にこんな状態で直るのか、と思うようなものでも、見事に直っていく。

「ヴァイオリンが車に轢かれて壊れたりすると、もう直せないと思う持ち主がほとんどですが、実は直せるんです。そこがこの仕事の凄くいいところだと思っています。」

私たちが生まれる何百年も前から